

育親学園校舎建設に係る説明会

日時 (1回目) 令和6年11月21日 13時00分～

(2回目) 令和6年11月25日 19時30分～

場所 日本梅小学校 体育館

【教育委員会からの説明内容(要旨)】

◆育親学園開校までの取組経過について

◆新校舎のパース図及び平面図について

◆新校舎建設に係る当初計画及び入札執行の状況について

⇒令和6年9月に契約し令和8年3月完成予定だったが、入札不調により計画を変更することとなった。

◆計画見直しに伴う今後の計画について

⇒積算内容や入札参加条件等を見直し、再度入札を行う。

令和7年3月に契約、令和9年3月完成となる見通しである。令和9年4月に新校舎使用開始としているが、工事の完成時期によっては移行期間を設けることも検討している。

◆かめおか児童クラブについて

⇒新校舎完成にあわせ、令和9年度から1か所(新校舎)での開催となる。

◆自校式給食の実施について

⇒新校舎完成にあわせ、令和9年度から自校式給食を開始する。

【意見・質疑及び回答内容(抜粋)】

(●以下、意見・質疑 ⇒以下、市教委及び学校回答)

《校舎建設に関することについて》

●次の2月の入札で決まらなかった場合、このまま新校舎建設の話がなくなってしまうということにならないか。

⇒育親学園の取組は、令和元年度から積み上げてきた取組で、調整会議など地域・保護者・学校といったいろいろな方からの意見をいただくなかで形にしてきた大切なプロジェクトだと考えている。

入札不調になったことは本当に申し訳なく思っているが、皆さんとともに作りあげてきたコンセプトなどは変えるつもりは無く、食育や木育を実施するためにも、今の校舎をこのままずっと使用するといったことは考えていない。

●次の入札に向けて内容を見直すとのことだが、具体的にどういったことを見直すのか。

⇒見直し内容については、建設工事にかかる経費を増やすため、備品や外構工事を省き建設に充てることと、一部積算の増額を行う。省いたものについては建設を始める中で別途予算を確保して実施していく。

●入札参加条件の緩和とは、どのように緩和するのか。

⇒工期を24か月とすることで、施工能力は十分あるが、工事期間の問題で入札に参加いただくことができなかった事業者も参加いただけるようにする。

●工事から省く外構とはなにか。別途どのように確保するのか。

⇒校舎の周りの溝やウッドデッキなど、付帯設備の事である。

工事の完成までに別途予算を要求し、当初の計画どおり実施を予定している。

●外構工事は別途ということだが、校舎の完成後に行うということか。

⇒別途予算を確保し、2年間の中で行う。工期が伸びるということではない。

ただし、グラウンドの整備については、現校舎を除却した後に整備するため、令和10年度から使用できる予定である。

●工期が半年延びると経費が増えるのではないか。

⇒1年半で施工できる能力を持った事業者を対象に入札を行ったが不調になってしまった。工期を延ばすことでより多くの事業者が参加できることになり、競争原理が働くと考えている。

●工事期間のグラウンドは旧本梅小学校を使用するということか。

⇒グラウンドについては、旧本梅小学校のほか、新旧校舎の間に仮設グラウンドを設置するので、それらを併用していく予定である。

●仮設グラウンドについて詳しく教えてほしい。テニス部の部活動は仮設グラウンドで行うのか。

⇒現在の体育館とグラウンドの間にある階段のあたり一帯を、校舎側の高さに揃え仮設グラウンドとする計画である。

面積的にはテニスコートが取れるくらいの広さだが、実際の活動については学校と協議をしながら、仮設グラウンドを使うのか、旧本梅小学校を使うのか決めていきたい。

●体育館についてはどうなるのか。

⇒体育館については、新校舎が完成するまでは今の体育館を使い、校舎が完成したら新しい体育館を使うことになるので、体育館が使えなくなるということはない。

●移行期間とはなにか。

⇒工事の完成が令和9年3月末になった場合、新校舎へ移る引越しの期間が短くなることから、新旧校舎を使いながら、引越しの期間を設けることも検討している。

●次の入札で参加業者が無いとか、入札があったとしても落札できず不調になった場合は、どんどん完成時期が延びていくということか。

⇒そのようなことが無いようにできる限りの対策を行うが、万一不調となった場合は工期に影響しないよう、速やかに再入札を行う。

●令和7年度から令和8年度にかけて駐輪場・道路・階段を整備するとあったが、完成次第使えるということか。

⇒完成次第使っていただくことはできる。

●階段の工事は、今の階段を使いながらの改修となるのか。

⇒使いながら改修することは難しいので工事期間は階段が使えなくなる。

時期については学校と時期を調整しながら決定し、事前にお知らせする予定である。

●育親学園は災害時の避難所にも設定されているが、道路のアクセスがしにくい。アクセスしやすいように改修して欲しい。

⇒道路の工事内容としては、舗装をやり替えるとともに離合ポイントを設置し、安全に通行できるように改修する。

●西部地域の子どもの数は今後増々減ってくると思うが、人数に対し過大な設計になっていないか。金額が膨れ上がっている中、コンセプトを残しつつ設計を変更したり、削ったりできる部分はないのか。

⇒外観や内装、校舎のコンセプトについては、これまでに地域の皆様と積み上げてきたものであり、変更することは考えていない。

●保護者にとっては、コンセプトが最優先ではなく、新校舎が計画どおり安全に建設されることが最優先である。コンセプトにとらわれこれ以上建設が遅れることが無いように努めていただきたい。

⇒当然の意見と考えている。コンセプトは皆様とともに大切に積み上げてきたものであり、現時点で変更することは考えていないが、そこにこだわって建設が進まないといったことが起きないように、今後の取り組みを進めていく。

●校舎建設が1年延びるが、現場の教員から見て現在の校舎を使い続けることにどういった影響があるのか。

⇒一番大きな問題はグラウンドが使えなくなるということ。授業等で使えないだけでなく、行事の際の駐車場等も検討しなければならない。

また、工事車両の出入りがあるので安全性の確保であったり、工事の騒音については心配をしているところであるが、そういった状況の中でどのように教育環境を整えていくかを教育委員会とともに連携をしながら進めていきたいと考えている。

●工事の発注はどこの部署が行っているのか。入札の見通しや建設中の騒音等子どもたちに与える影響について、その部署に直接説明に来ていただくことはできないのか。

⇒騒音等については防音対策をしっかりとって工事を行う。まったく音がしないということはないが、授業等の邪魔にならないようにできる限りの対策を取っていく。

発注については建築住宅課が行っているが、こういった説明については教育委員会がしっかりと行うということでご了承いただきたい。

●入札条件の中に「工事期間中〇時～〇時は送迎の時間のため工事できない」等といった注意事項があると思うが、そういった情報を保護者にも公表していただきたい。

⇒入札成立後、工事の時間帯など気を付けなければいけない点については保護者の方にも共有させていただく。

●予算が足りないのであれば、新校舎を建設せずに、使いにくいところや足りないところだけリフォームすれば少ない予算で実施できるのではないか。

⇒校舎については、地域の皆さんとともに積み上げてきたものなので、教育委員会としては何としても新校舎を建設したいと考えている。

●教員から見て今の校舎の使いにくいところはどこなのか。

⇒現校舎の課題としては、教室数に余裕がないことが一番の課題だと考える。そのため児童クラブを実施できないということが起きている。

また、体育祭等の時に保護者の駐車場が確保できないことや、グラウンド横の通路が狭く離合ができないこと、駐輪場についてもバスが停まると狭くなり横をすり抜ける車が危険である。階段についても手すりが無かったり段差が整っていない等課題があるので、新校舎建設に合わせて改修を行っていただく。

●教育委員会に熱い思いがあることは理解した。

こどもファーストを掲げていることや、育親学園をパイロット校にするという思いの中で、予算と入札額に6億円の乖離があるのであれば、補正予算を組んで6億円を追加すればいいのではないか。

⇒再度の入札に向けて様々な方法を検討したが、建設工事にかかる経費を増やすため、備品や外構工事を抜き建設に充てることと一部積算の増額を行うとともに、入札参加業者を増やし、競争原理を働かせることが一番の対策ということで進めている。

●良い新校舎だと思うが、建った後の維持管理が大変そうに感じる。年一回のPTAの美化作業だけで維持できるとは考えられないので、しっかりとお金をかけて業者による管理をしてほしい。

⇒他の学校と同様に、必要な部分についてはしっかりと予算を取って適切な維持管理に努めていく。

《かめおか児童クラブに関することについて》

- かめおか児童クラブについては、新校舎の完成を待たずに始められるのではないかと。
⇒空き教室が無いことに加え、バス・教職員・工事車両と児童クラブのお迎えの保護者が現校舎に集まってしまうことになり、駐車場不足や安全性担保の観点から新校舎の使用開始に合わせて1箇所にするとしている。
- 現在バス1台で送迎されているが、スクールバスを活用することはできないのか。
⇒これまでから検討してきたが、バスの運転手の勤務時間が長時間となることから、現状のスクールバスを利用することはできず、現在の運営方法となっている。
- 本梅の児童クラブを利用しているが、学校の授業が終わってから育親学園で1時間待ってそこからバスで移動している。仕事が早く終わった日のお迎えが、バスと行き違いになってしまったりして不便だと感じることが多い。
3か所でやる間も、バスを増やすなど対策を取っていただくことはできないのか。
⇒本来はバスを3台確保できればと考えているが、運転手が不足しているなどの問題があり1台で運用している。バスを増やすことは難しいが、現状のなかで改善できることがあれば改善に努めたい。
- 校舎にかけるお金を少しバスに回すなどできないのか。また、待ち時間は図書室で待っていると聞いているが、騒がしくて宿題もできずに帰ってくるのが多く、家に帰ってから宿題をすることで子どもたちにも負担がかかっている。
⇒バスについては、運転手の確保が難しいという問題がある。現状のなかで改善しなければならない課題については改善に向けて検討していきたいと考えているので、ご理解をお願いしたい。

《給食に関することについて》

- 給食は、現在も1年生から6年生までの給食を給食センターから運んでいるので、7年生から9年生の給食も作って届けばいいのではないかと。昔に比べて児童・生徒数が減っているのだから、可能ではないのか。
⇒現在の給食センターは小学生への給食を作る施設であり、コンテナや食缶、食器の大きさが中学校給食にそぐわない。また、必要な栄養価も変わってくるため、単に量を増やすだけではなく、一品追加するなどの対応が必要になることから現状の施設では対応することができない。また、育親学園は、地域産の食材を使用した自校式給食を特徴としているため、新校舎の使用開始とともに開始することとしている。

- 育親学園は亀岡市内の他の中学校に先んじて中学校給食を実施するのではないのか。

⇒育親学園以外の市内中学校の給食については令和10年度から実施する予定で、現在自校式、センター方式含め検討をしているところである。

校舎建築の遅れに伴い、令和9年度からとなるが、市内の中学校に先んじて給食を実施する予定である。

《子どもたちへの説明について》

- 校舎の建設が伸びることに対し、子どもたちにはどのように説明するのか。

⇒まだ入札の結果が確定していない現時点では、子どもたちへの説明は行わない予定としている。入札が完了し、今回説明のあった今後の具体的なスケジュールが確定した段階で、しっかりと説明をすることが適切と考えている。

《学校運営に関することについて》

- これまではクラス単位での懇談があり、意見を伝えたり、また他の保護者の意見を聞くことができていたが、育親学園になりそういった機会がなくなったように思う。また、子ども達同士でも名前も知らない子達がいるなかで、縦も横も繋がりが希薄になってしまっていると感じる。

⇒保護者や子ども達にとってより良い環境を提供できるよう、工夫できる部分については学校と十分に連携するなかで考えていきたい。

- ステージ制をもとに教室の割り振りなど考えていると思うが、小学生と中学生の授業時間が違うことから、中学生がまだ授業している横で小学生が休み時間に騒いでいるなど、中学生に負担がかかっていると思う。また、これから工事が始まると騒音など受験勉強に影響が出ないか心配である。環境面で直せる部分があるのであれば検討して欲しい。

⇒個々の課題について、この場で答えを出すことはできないが、改善できる部分については内容を検討していきたい。

ステージ制については、ブロック協議会や調整会議で地域の皆様とともに検討し作りあげてきたものであるから大切にしていくとともに、育親学園ができたことによるプラスの面をしっかりと伝え、子どもたちの成長につなげていくことが大切だと考えている。

《その他》

- 今回の校舎建設の延期について、教育委員会はどのように責任を取るのか。
⇒ 当初の計画どおりに進めることができなかったことは大変申し訳ないと思っているが、今回説明しているように、速やかに対策を取り、校舎建設を進めていくことが教育委員会としての責任の取り方だと考える。
- 説明会を開催するにあたり、自治会への説明が先だったのはなぜか。
⇒ 説明時期については、たまたま自治会からの要請もあったことから自治会が先になってしまったが、決して保護者の方を後回しにしたということではないということをご理解いただきたい。
- 今回の説明の内容や各保護者からの質問については、説明会に来ていない保護者にはどのように伝えるのか。確定した情報はもちろん、今後の方向性や、周りの保護者がどのような考えを持っているのかを共有するため、議事録を公表して欲しい。
⇒ 説明の内容や、質疑をまとめた議事録を公表し周知を図る。
また、入札後、確定した内容については広報紙等の方法により全員に周知を図る。
- ブロック協議会や調整会議が無くなったことにより、教育委員会と保護者が意見を交換する場がなくなってしまった。入札が終わり次第、そういう場を設けてほしい。
⇒ 改めて調整会議を立ち上げるといったことは現時点では考えていないが、保護者等と意見交換をすることは大切だと考えているので、学校とも連携をしながら速やかな情報共有及び丁寧な説明方法を検討していきたい。
- 保護者だけではなく、地域の人たちへの説明はどのように考えているのか。
⇒ 入札成立後、速やかに自治会にも情報共有するとともに、広報紙を全戸配布とする予定としている。

(追記)

入札に係る今後の日程について、

12月4日に公告を行い、令和7年1月29日(水曜日)に開札とすることが決定いたしました。

(予定価格に関する質問があった場合は**1月30日(木曜日)**に開札となります。)

入札後、落札業者が決定しましたら改めて周知をしますので、御理解いただきますようお願いいたします。